

複合材料の可能性を広げる相溶化材

開発ステージ

研究・開発段階

導入検討段階

実用化段階

キーワード

マテリアル
リサイクル

用途

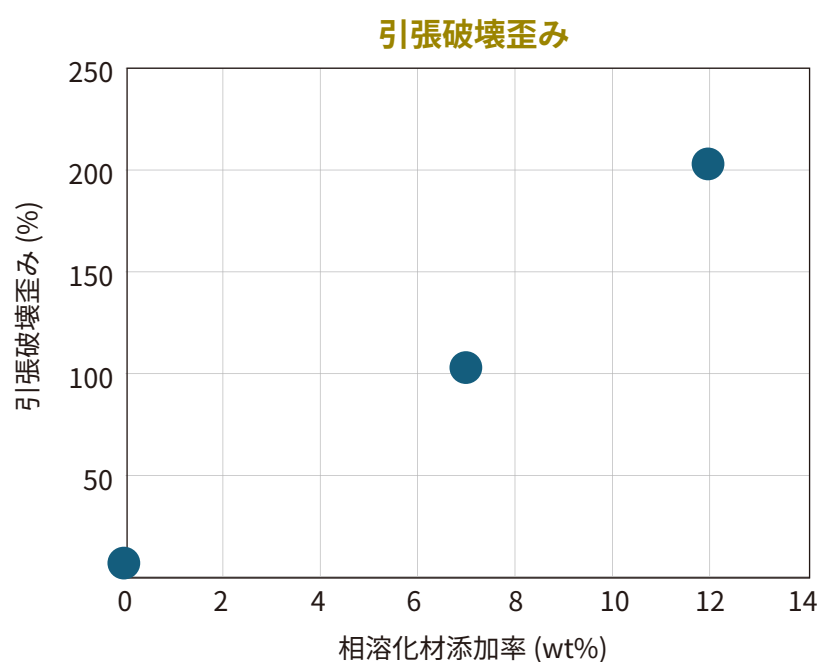
複合プラスチックの相溶化材／ フィラーコンパウンドの相溶化材

課題

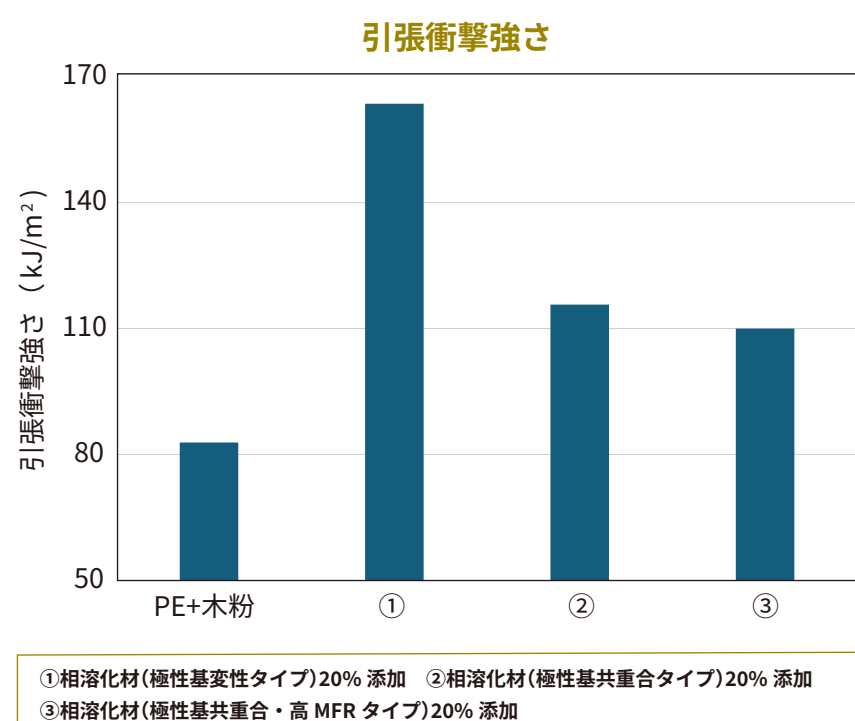
- 多層フィルムなどの複合プラスチックは分離が困難。そのままリサイクルすると異なる材料同士の混ざりが悪く、物性が低下するため、循環利用が困難
- バイオマス原料由来フィラーは樹脂への分散性に課題があり、特に多量添加時には物性への影響が大きくなる

ソリューション

●PE/PA 混合プラスチックへの添加効果



●木粉混合時の添加効果



ベネフィット

- 循環利用が困難だった多層フィルムを有効活用できる
- 複合プラリサイクル材やバイオマス原料由来フィラーを活用した環境対応製品の展開が可能

お問い合わせ |  日本ポリエチレン株式会社

免責事項 本資料に記載された試験結果、技術情報、推奨事項等は、弊社が蓄積した経験および実験室データに基づいて作成したもので、異なった条件下で使用される製品にそのまま適用できるとは限りません。従いまして、お客様の製品、使用条件にそのまま適用できることを保証するものではなく、それらの活用に関してはお客様で責任を持って判断する必要があります。弊社はいかなる場合においても、本製品を単独または他の製品と組み合わせて使用した場合の、製品への適合性及び本書に記載された用途における市場性と安全性については保証しません。